

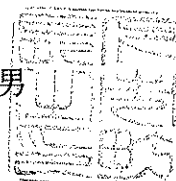


下企財第112号
平成19年5月7日

国土交通省 道路局長 様

奈良県吉野郡

下市町長 東 奈良男



中期計画の作成についての意見書の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のあったこのことについて、別紙のとおり提出します。

中期計画作成についての意見書

移動手段を自動車に依存している当地域にとって、道路は、防災・医療・通勤・通学など生活に欠くことができない社会資本であるにもかかわらず、未だ未改良区間が多く、十分な安全性と走行性が確保されていない状況にあります。

国においては、高規格幹線道路の整備促進とともに、アクセス道路・バイパス等の広域的な道路ネットワークの構築に向けた取り組みが望まれる中、その一端を担っている基幹道路や地方道路は、地域振興の推進や生活環境の向上、地域間格差の是正、交流人口拡大等を図る上で、最も重要な社会資本であることから、地域の声を反映した効果的な整備計画の作成と道路財源の地方へのより一層の配分強化を望みます。

下市町要望箇所

- ◎ 国道309号 丹生バイパス（長谷・丹生工区）早期整備促進（別紙①）
- ◎ 国道309号 下市町大字下市（下阪地内）狭隘箇所の拡幅（別紙②）
- ◎ 国道309号 下市町大字原谷 事故多発危険箇所の改良（別紙③）
- ◎ 国道309号 下市町大字下市（山崎～今在家地内） 電線地中化（別紙④）
- ◎ 地域交流道路（国道309号バイパス）新設（新樺大橋～岩森）
（別紙⑤）

下市町
天理村
里後村
生活道バイパスとして整備してほしい。

国道309号 下市町要望箇所

